

# 目黒区

## 目黒区における精神保健福祉包括ケアシステムの構築推進 ～さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる～

目黒区では、精神疾患や精神障害のある方が住み慣れた地域で、自分らしく充実した生活を送ることができるよう、保健・医療・福祉・介護・住まい・社会参加・地域の助け合いが包括的に確保された『精神障害にも対応した地域包括ケアシステム』の実現を目指します。



## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要(全体)

### 【区の施策の位置づけ】

目黒区保健医療福祉計画 目黒区障害者福祉計画 令和3年3月

身近な地域で暮らし続けていくことができる仕組みづくり

○保健・医療・福祉サービスの連携

#### <事業計画>

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて精神科病院等の医療関係、支援事業所、

行政等の関係者間の顔の見える関係を構築し、地域の課題を共有した上で精神障害にも

対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組みます

### 3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

- 平成30年9月 目黒区精神障害者地域移行・地域定着推進連絡会を設置
- 令和2年 「目黒区精神障害者地域移行・地域定着推進連絡会」を保健、医療、福祉関係者による協議の場として設置
- 令和3年4月 目黒区精神保健福祉医療推進協議会を設置
- 令和3年10月 目黒区精神保健福祉医療推進協議会 関係所管連絡会を開催（以後協議会前に開催）
- 令和4年1月 令和3年度 第1回 目黒区精神保健福祉医療推進協議会を開催  
（書面開催、R5～年2回対面開催）
- 令和4年4月 アウトリート支援事業、都ガイドラインに沿った措置入院者退院後支援事業開始
- 令和5年3月 関係機関に向けた勉強会開始、ピアサポーター先進自治体の取り組み勉強会実施
- 令和5年10月 R6年度に向けたピアサポーター検討会実施
- 令和6年10月 第1回ピアサポート検討会実施

## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和5年までの取り組み状況＞			
課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R5年度当初)	実績値 (R5年度末)	具体的な成果・効果
①保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置	開催2回	開催2回	区における課題の抽出と目標設定
②都ガイドラインに沿った措置入院者退院後支援	措置入院者 全数	実施12件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・措置入院者退院着支援リーフレットを24医療機関に手渡しで配布し、支援者との顔も見える関係に繋がった</li> <li>・把握した措置入院者 16件、ガイドラインに繋がらない方は通常支援を行った</li> </ul>
③アウトリーチ支援	支援対象者 8人	支援対象者 12人	・困難事例を共有する所内会議の定着化

## 5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

## 【特徴(強み)】

- ・小さな区の特徴を活かしてケースを通して顔の見える関係が構築できている。
- ・保健師は地区担当制を執り、困難事例は保健所内の精神保健福祉士、助産師等と連携して対応している。
- ・区内にアルコール依存症や高次脳機能障害者に特化した事業所がある。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
普及啓発	正しい知識の普及、精神疾患への理解と偏見の払拭等 ・地域関係機関に向けた普及啓発 ・精神保健事業をまとめたリーフレットを配布し、区民 医療機関、関係機関に広く周知していく ・ピアサポーターの交流会実施	行政	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	
地域での支援体制の充実  退院後支援体制の構築	早期発見・早期介入・早期治療による重症化予防 未治療・治療中断の方が医療につながるアウトリーチ支援の構築  退院後の切れ目ない支援の構築 ガイドラインに沿った措置入院者退院後支援	行政	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	
課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (今年度末)	見込んでいる成果・効果
①、ピアサポート交流会実施	0回	1回	
②アウトリーチ支援対象者数		8人以上	
③措置入院者退院後支援		措置入院者把握全数	

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

## 6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

## 【にも包括構築の体制】

所管部署名	所管部署における主な業務
保健予防課	協議会事務局
碑文谷保健センター	

連携部署名	連携部署における主な業務
障害者支援課	
福祉総合課	
生活福祉課	
子ども家庭支援センター	

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	・地区担当保健師、精神保健福祉士を中心に関係機関と連携	
医療	・個別ケースを通じた連携 ・アウトリーチ支援事業	・病状悪化時の緊急入院先がスムーズに探せない ・精神科以外の診療科のかかりつけ医を持つ仕組みづくり (医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携強化)
福祉	・個別ケースを通じた連携 ・カンファレンス等で困難事例の共有	・小さな区であるため、精神関連事業所等との顔の見える関係はできている。
その他関係機関・住民等	精神保健講演会、家族会等への参加	

## 7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項等(課題・強み等)
目黒区精神保健医療福祉推進協議会	保健、医療、福祉関係機関、行政担当者	年2回	協議会を軸に各事業に取り組んでいる	広域アドバイザーの支援を受けながら一体となって取り組んでいる
関係所管連絡会	行政の関係所管(係長級)	年2回	協議会開催1か月前に、実務担当者による意見・情報交換会を実施	連携強化
アウトリーチ支援事業所内会議	地区担当保健師、精神保健福祉士、事務職等	月1回	アウトリーチ支援事業の対象者か検討	困難事例の共有
ピアサポート検討会	保健、医療、福祉関係機関、行政担当者(今後ピアの方も参加予定)	未定	令和6年度はピア交流会に向けた検討	

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

## 8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール(長期)

事業利用予定年数:令和 (未定) 年度まで

長期目標	
------	--

年度	実施内容	具体的な取組
R6年度		
R7年度		
R8年度		
R●年度	事業利用終了、自治体で推進	

## 9 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール(今年度)

短期目標 (今年度)	ピア交流会の実施(1回)	
スモール ステップ	ピアサポート検討会を実施し、交流会について検討していく	
時期(月)	実施内容	具体的な取組
R6年6月	交流会に向けた準備スタート	・合同アドバイザー会議にて、広域アドバイザー、密着アドバイザーと情報共有し、意見交換、助言をもらう